

第4学年1組 社会科学習指導案

平成27年 9月24日(木) 2校時

指導者 教諭 菅野 登志子

場 所 4年1組教室

1 本研究授業の提案

ごみの問題に対して自分たちにできることを考えさせる手だてとして、以下の2つについて提案する。

- (1) 仙台市のごみの量の推移についてのグラフを提示し、ごみ減量について考えるきっかけにする。
- (2) 一人一人が調べてきたごみを減らす活動の共通点を見つけて3Rに分類する。

2 本研究の授業技術課題

- (1) ごみ減量を考えさせるための資料の精選と効果的な活用。
- (2) 個々の考えの伝え合いや話し合い活動の取り入れ方の工夫。

3 本研究授業で取り入れた言語活動

ごみ減量につながる取り組みを紹介し合い、その取り組みが3R(リデュース・リユース・リサイクル)のどれになるのかを、根拠を伝え合いながら振り分けていく。また、3Rの活動に取り組むことの利点を話し合う中で友達の考えと自分の考えを比較し、多様な考えがあることに気付く。

4 単元名 住みよいくらしをつくる ごみのしよりと利用

5 単元の目標

ごみの処理にかかわる対策や事業に関心を持ち、ごみの処理や有効利用と自分たちの生活や産業とのかかわりや、これらに関わる対策や事業が計画的、協力的に進められ、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解し、ごみの減量やリサイクルなど自分たちに協力できることを考え、進んで取り組もうとする。

6 指導計画(本時 11/14時間)

時	主な学習活動
①	ごみを分ける
②③	ごみ置き場の様子
④	ごみのゆくえ
⑤⑥	もやすごみのゆくえ
⑦⑧	ごみが生まれ変わる
⑨⑩	ごみの問題について考えよう
⑪⑫	自分たちにできることについて考えよう(本時)
⑬⑭	新聞を作ろう

7 本時の展開

(1) ねらい

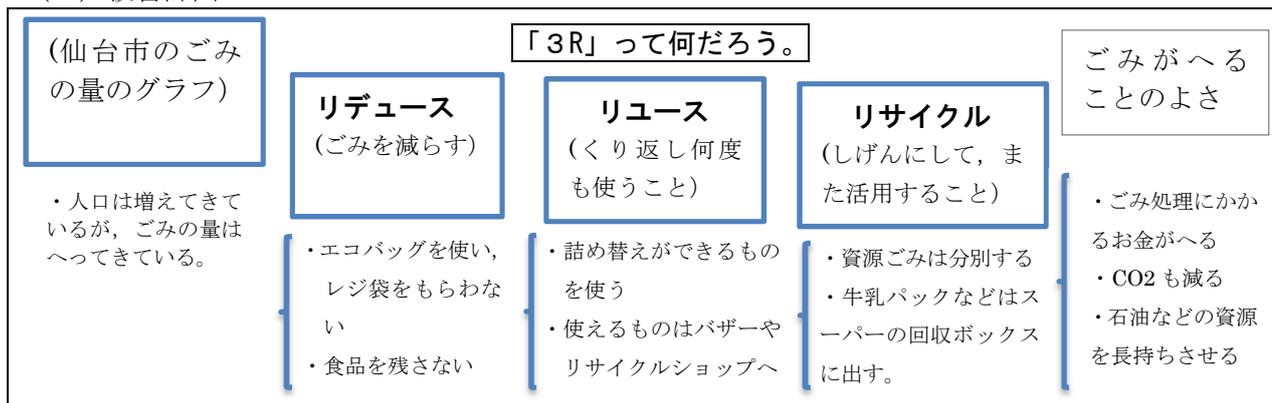
ごみ減量の3R(リデュース・リユース・リサイクル)を理解し、ごみ減量のための活動を3Rに分類しながら、ごみ減量の活動が身近にたくさんあることに気付かせる。またごみ減量のメリットを考えさせる。

(2) 指導過程

段階	学習活動	指導事項・留意点・評価
導入 (5分)	1 仙台市のごみの量のグラフを見て、気付いたことを発表する。 〔発問〕仙台市のごみの量のグラフを見て気付いたことはありますか。 ・人口が増えているのに、ごみの量は減ってきている。	・仙台市は人口が増えているにもかかわらず、ごみの量は減ってきていることに気付かせる。(平成22年まで)

展開 (5分)	2 ごみを減らすための取り組みを考える。 〔1〕「3R」について確認する。 〔発問〕「3R」とはそれぞれ何を表しているのでしょうか。	<b>「3R」って何だろう。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や見学メモを手がかりに「3R」を確認させる。</li> </ul>
	(10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リデュース（ごみを減らす）</li> <li>・リユース（繰り返し何度も使うこと）</li> <li>・リサイクル（資源にして、再び活用すること）</li> </ul> 〔2〕グループごとに家庭で取り組んでいるごみを減らす活動を紹介し、「3R」のどれになるかを確認する。 〔指示〕グループになり、ごみを減らす活動を紹介し、「3R」のどれになるか色別の○印を付けましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にカードに書かせる。</li> <li>・同じ内容のカードはまとめる。</li> <li>・カードに「3R」と同じ色の印を付けさせる。</li> </ul>
(10分)	〔3〕黒板で情報を共有する。 〔指示〕グループで集まった活動を紹介します。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとにカードを紹介し、「3R」のそれぞれの場所に貼っていく。</li> </ul>
(10分)	3 ごみを減らすことのメリットを考える。 〔発問〕ごみを減らすとどんないいことがあるのでしょうか。グループごとに話し合ひましょう。 〔発問〕出た意見を発表しましょう。	<b>ごみがへってよくなることは何だろう</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践はしていないが、知っている活動があれば付け加える。</li> </ul>
終末 (5分)	3 今日の学習を振り返る。 〔指示〕今日の学習で分かったことを、ノートにまとめましょう。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題にかかわる話し合いになってもよい。</li> <li>・考えたメリットはノートにまとめさせる。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の学習に意欲を持たせる。</li> </ul>

(3) 板書計画



(4) 本時の評価

具体の評価基準	「3R」について理解し、ごみ減量の活動を分けることができる。ごみ減量の利点について考えることができる。(カード・発言)
Aと判断する姿	「3R」について正しく理解しごみ減量の活動を根拠を元に分けることができる。ごみ減量の利点について多方面から考えることができる。(カード・発言)
Cへの手だて	「3R」について具体的なごみ減量活動を例にして、3つの違いに気付かせる。ごみ問題を思い出させ、減ることでそれが改善されることに気づかせる。

